

御嶽山の火山活動解説資料（平成20年11月）

気象庁地震火山部
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、火口周辺に影響を及ぼす噴火の兆候は認められません。
平成20年3月31日に噴火警戒レベルの導入に伴い噴火予報（噴火警戒レベル1、平常）を発表しました。その後、予報警報事項に変更はありません。

○ 活動状況

- ・噴気など表面現象の状況（図2-①、図3※）
三岳黒沢（剣ヶ峰の南東約14km）に設置してある遠望カメラでは、時々、山頂付近でごく少量の弱い噴気が観測されました。
- ・地震や微動の発生状況（図2-②③、図4※）
火山性地震の発生回数は少なく、地震活動は静穏に経過しました。
火山性微動は観測されませんでした。
- ・地殻変動の状況（図2-④⑤⑥）
GPS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められませんでした。

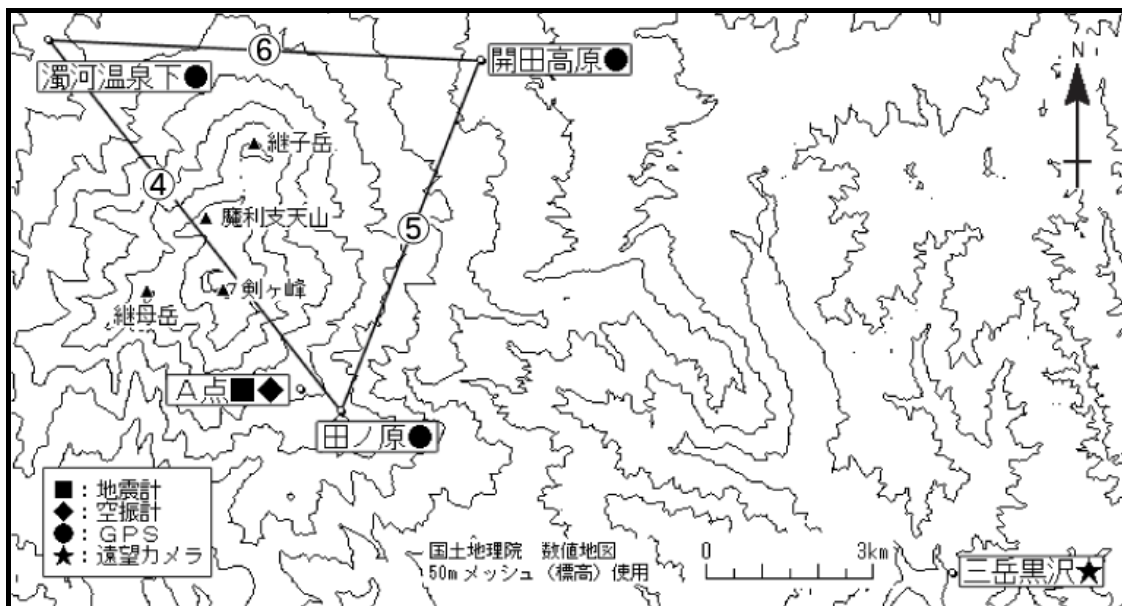


図1 御嶽山 気象庁の観測点配置図（小さな白丸は観測点位置を示しています）
図中の GPS 基線④～⑥は図2の④～⑥に対応しています。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成20年12月分)は平成21年1月7日に発表する予定です。
※この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、名古屋大学、独立行政法人防災科学技術研究所、長野県及び岐阜県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

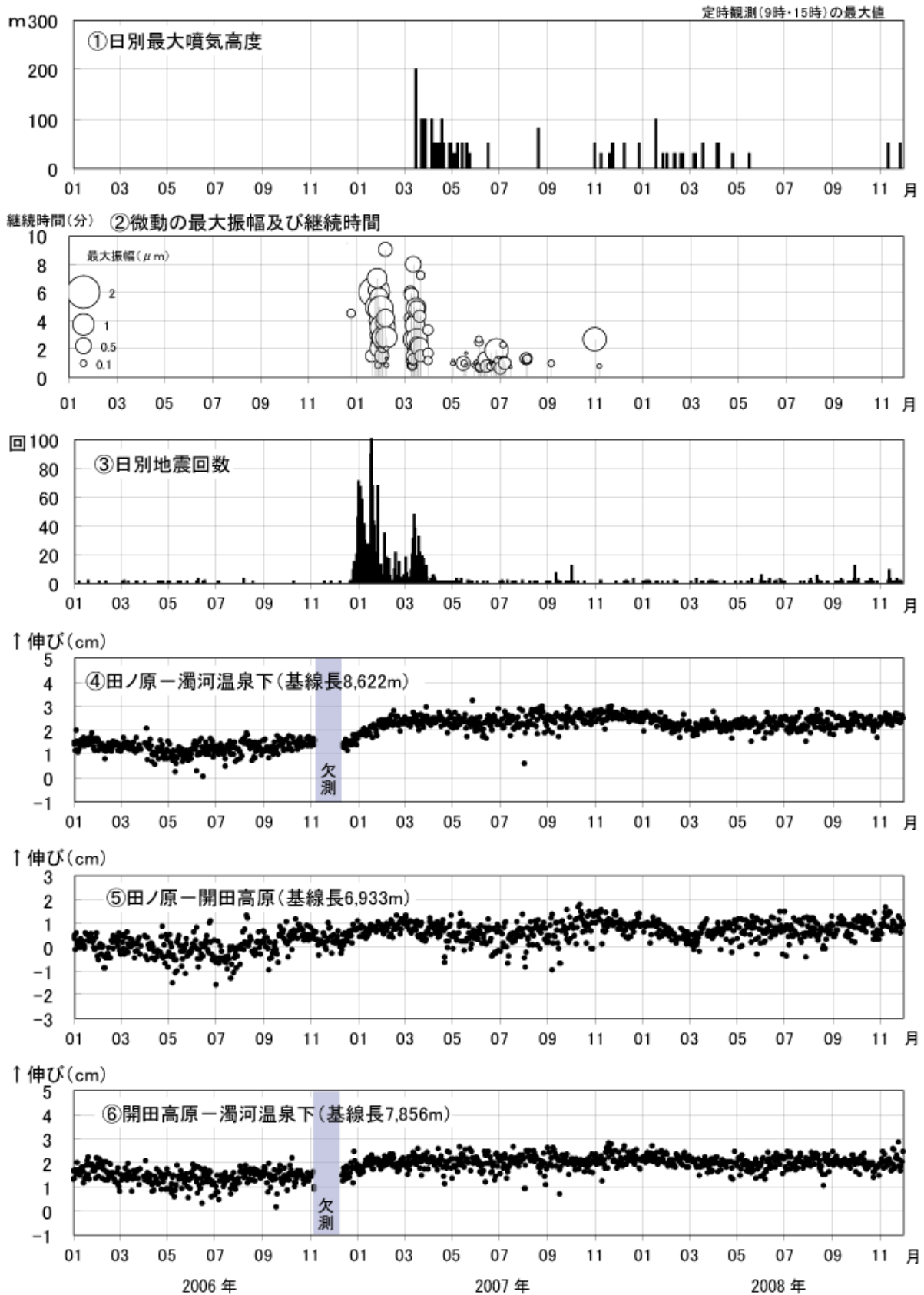


図2 御嶽山 最近の火山活動の推移（2006 年 1 月 1 日～2008 年 11 月 30 日）
 図中④～⑥は図1のGPS基線④～⑥に対応しています。



図 3 ※ 御嶽山 山頂部の状況（11 月 11 日 三岳黒沢遠望カメラによる）

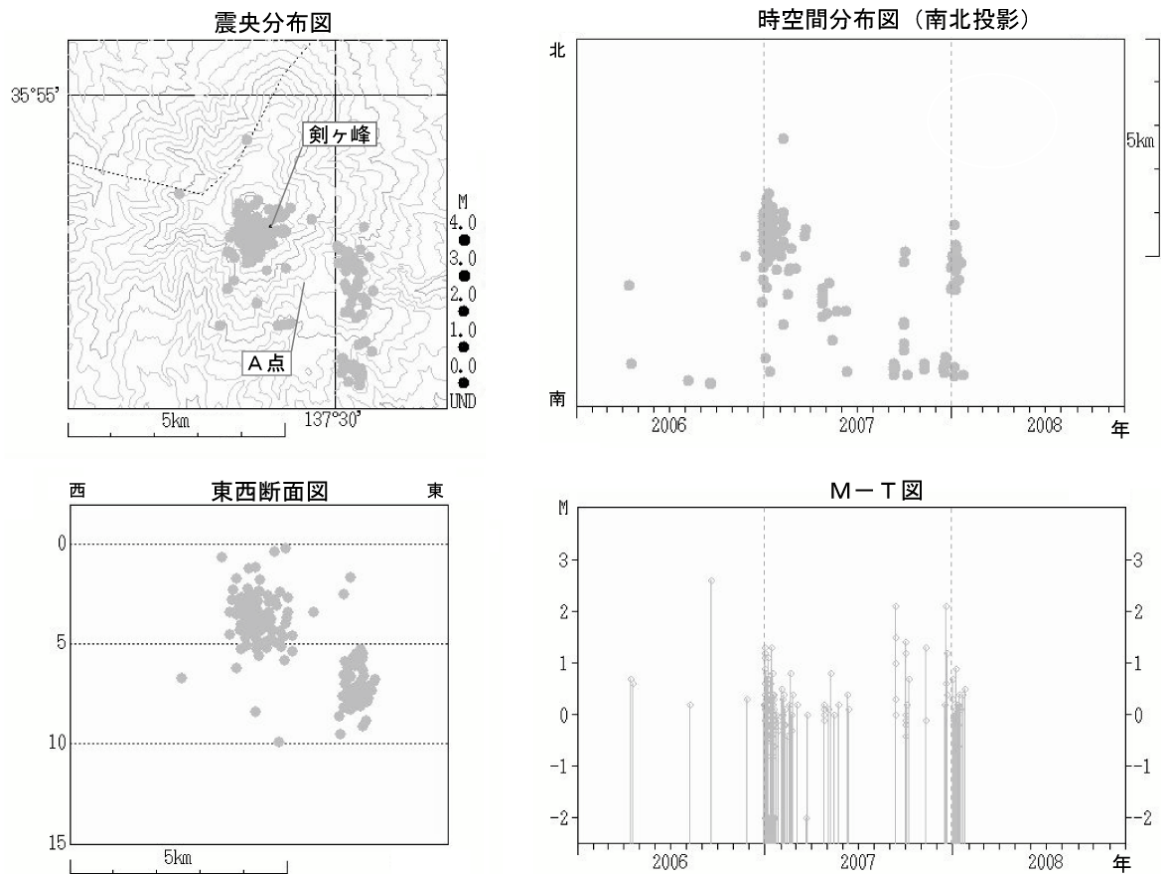


図 4 ※ 御嶽山 震源分布図（2006 年 1 月 1 日～2008 年 11 月 30 日）

今期間、震源が求まった地震はありませんでした。

M（マグニチュード）は地震の規模を表します。図中の震源要素は一部暫定値で、後日変更することがあります。